

IPX patent partners

特許業務法人IPX

爆速[®]出願システム



明細書の高速作成
最大2倍速で書類作成
が可能になります



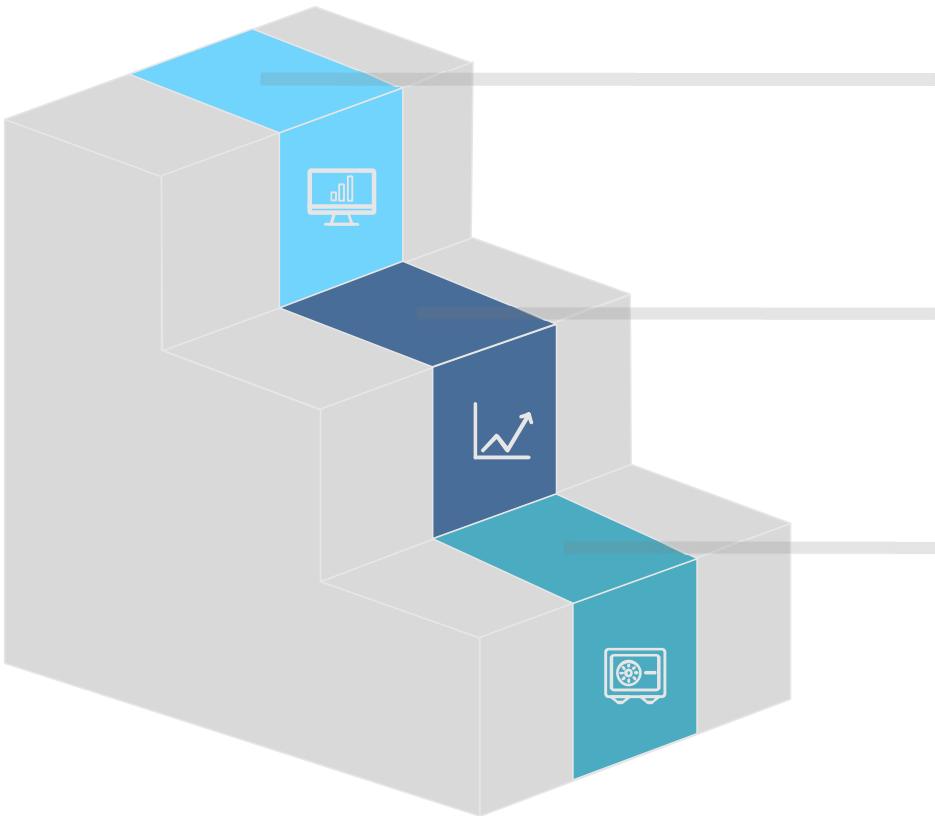
体裁の統一
書類の体裁を簡単に
統一できます



誤記の低減
手入力と比べて格段に
誤記を減らせます

対象

特許関連書類を内製する企業知財部の方



- 1 高速**
最大 2 倍速で書類作成
が可能になります
- 2 高品質**
誤記の激減・体裁の統一を簡単に実現できます
- 3 重要業務への集中**
削減した時間を知財戦略・発明抽出などの業務に回しましょう

効果

システム導入により 3 つの重要な効果が得られます

爆速®出願システム

爆速®出願システム（特許取得済み）を利用し
業界平均の2倍速での特許出願を実現



爆速®出願システム

特許第6744643号



前処理

スマート辞書登録

- 案件毎に単語を簡単に辞書登録
- 辞書データはユーザー間で共有可能

特許第6709924号



書類作成

爆速®ドラフト

- 請求項に自動で色付
- 請求項の対応箇所に自動で色を反映
- 解決手段を自動生成
- 発明の名称を自動生成
- 図面の簡単な説明を明細書から自動生成
- 要約書を自動生成
- 請求項と明細書の対応箇所を同期
- らくらく補正機能



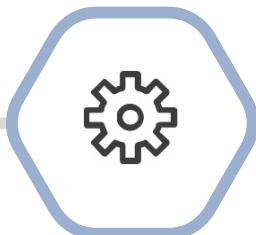
後処理

自動整形

- 非技術情報の自動入力
- 1-Clickで文書データと画像データを統合しHTMLファイルを生成
- 顧客別テンプレートの自動挿入
- 【発明の効果】の欄の有／無を自動切替
- フォントの種別／サイズを統一

爆速®出願システム

特許第6744643号



前処理

スマート辞書登録

- 案件毎に単語を簡単に辞書登録
- 辞書データはユーザー間で共有可能

特許第6709924号



書類作成

爆速®ドラフト

- 請求項に自動で色付
- 請求項の対応箇所に自動で色を反映
- 解決手段を自動生成
- 発明の名称を自動生成
- 図面の簡単な説明を明細書から自動生成
- 要約書を自動生成
- 請求項と明細書の対応箇所を同期
- らくらく補正機能



後処理

自動整形

- 1-Clickで文書データと画像データを統合しHTMLファイルを生成
- 顧客を自動特定して個別に整形
- 顧客別テンプレートの自動挿入
- 【発明の効果】の欄の有／無を自動切替
- フォントの種別／サイズを統一



- 爆速®タイピングのためのスマート辞書登録
- 誤字脱字／符号の表記揺れの激減
- 辞書データを共有可能

スマート辞書登録

A	B	C	D	E	F	G	H
1				辞書.txt		クリア！	
はじめ→ 後続↓	1	2	階層① 3	階層① 33	4	5	6
システム	サーバ	情報処理装置	制御部	...			
バス							
階層② 1		通信部	表示制御部				
2		記憶部	UI生成部				
3		制御部	変換部				
4		表示部	辞書データ生成部				
5		入力部	辞書データ読込部				
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							



- タイピング速度の爆速化
- 誤記の劇的低減

辞書_IPX19P001.txt - メモ帳		
ファイル(F)	編集(E)	書式(O)
1 システム1		名詞
2 共有サーバ2		名詞
3 情報処理装置3		名詞
30 バス30	名詞	
31 通信部31		名詞
32 記憶部32		名詞
33 制御部33		名詞
34 表示部34		名詞
35 入力部35		名詞
33 制御部33		名詞
331 表示制御部331		名詞
332 UI生成部332		名詞
333 日本語入力変換部333		名詞
334 辞書データ生成部334		名詞
335 辞書データ読込部335		名詞

辞書データ



通常の入力 : 5秒

hyoujiseigyo+変換+331→表示制御部331

スマート辞書 : 1秒

331+変換→表示制御部331

爆速®出願システム

特許第6744643号



前処理

スマート辞書登録

- 案件毎に単語を簡単に辞書登録
- 辞書データはユーザー間で共有可能

特許第6709924号



書類作成

爆速®ドラフト

- 請求項に自動で色付
- 請求項の対応箇所に自動で色を反映
- 解決手段を自動生成
- 発明の名称を自動生成
- 図面の簡単な説明を明細書から自動生成
- 要約書を自動生成
- 請求項と明細書の対応箇所を同期
- らくらく補正機能



後処理

自動整形

- 1-Clickで文書データと画像データを統合しHTMLファイルを生成
- 顧客を自動特定して個別に整形
- 顧客別テンプレートの自動挿入
- 【発明の効果】の欄の有／無を自動切替
- フォントの種別／サイズを統一



- 爆速®ドラフト
- 見やすい／読みやすい／チェックが楽
- 体裁の統一

請求項から

【請求項 1】 ↪

辞書データを生成する情報処理装置であつて、
 前記辞書データとは、入力キー順列と変換文字列とを紐付けたリストで、
 本情報処理装置は、U I生成部と、辞書データ生成部とを備え、
 前記U I生成部は、辞書データ編集U Iを生成するように構成され、ここで前記辞書データ編集U Iとは、2次元テーブルのU Iで、このテーブルの行及び列によって規定される各セルに情報を入力可能に構成され、
 前記辞書データ生成部は、前記辞書データ編集U Iに対する入力の結果に基づいて、前記辞書データを生成するように構成されるもの。 ↪

解決手段を自動生成

【課題を解決するための手段】 ↪

【0007】◆付記：斜体部分は、自動生成・更新につき「修正不要」です（以下同様）。◆
 本発明の一態様によれば、辞書データを生成する情報処理装置が提供される。この情報処理装置における辞書データとは、入力キー順列と変換文字列とを紐付けたリストである。本情報処理装置は、U I生成部と、辞書データ生成部とを備える。U I生成部は、辞書データ編集U Iを生成するように構成される。辞書データ編集U Iとは、2次元テーブルのU Iで、このテーブルの行及び列によって規定される各セルに情報を入力可能に構成される。辞書データ生成部は、辞書データ編集U Iに対する入力の結果に基づいて、辞書データを生成するように構成される。 ↪
 【0008】
かかる情報処理装置を用いて書類作成を行うことで、書類作成に際して誤記や誤植の発生を防止し、且つ書類作成時間も削減することができる。 ↪

→
自動生成
修正も反映

- 請求項から解決手段を自動で生成
- 請求項の修正も自動で反映
- 請求項と解決手段の不一致を解消

- 以下も自動生成
- 発明の名称
 - 図面の簡単な説明
 - 要約書



請求項に自動で色付

【書類名】特許請求の範囲

【請求項1】

辞書データを生成する情報処理装置であって、

□前記辞書データとは、入力キー順列と変換文字列とを紐付けたリストで、

□本情報処理装置は、UI生成部と、辞書データ生成部とを備え、

□前記UI生成部は、辞書データ編集UIを生成するように構成され、ここで前記辞書データ編集UIとは、2次元テーブルのUIで、このテーブルの行及び列によって規定される各セルに情報を入力可能に構成され、

□前記辞書データ生成部は、前記辞書データ編集UIに対する入力の結果に基づいて、前記辞書データを生成するように構成されるもの。

【請求項2】

請求項1に記載の情報処理装置において、

□前記辞書データ編集UIにおける前記セルは、第1の入力キーセルと、第2の入力キーセルと、文字列セルとに少なくとも分類され、

□前記第1の入力キーセルは、行見出し及び列見出しの一方を構成し、前記入力キー順列のうち前半部分に対応する英数字の入力欄として機能し、

□前記第2の入力キーセルは、前記一方に対する他方を構成し、前記前半に対する後半部分に対応する英数字の入力欄として機能し、

□前記文字列セルは、前記行見出し及び列見出しの何れにも含まれないセルで、前記入力キー順列と紐付けた前記変換文字列又はその一部で構成される主要文字列の入力欄として機能するもの。

【請求項3】

請求項2に記載の情報処理装置において、

□前記文字列セルは、前記主要文字列の入力欄として機能し、

□前記辞書データに含まれる前記変換文字列は、前記主要文字列の後に前記入力キー順列を繋げてなる文字列であるもの。

【請求項4】

請求項1～請求項3の何れか1つに記載の情報処理装置において、

□特定言語入力変換部をさらに備え、

□前記特定言語入力変換部は、前記辞書データ編集UIに入力され且つ英数字で規定される前記入力キー順列を、この入力キー順列を特定言語入力した際に表示される特定言語入力表示形式に変換するように構成され、

□前記辞書データ生成部は、前記特定言語入力表示形式の前記入力キー順列と、前記変換文字列とを紐付けた前記辞書データを生成するように構成されるもの。

【請求項5】

請求項4に記載の情報処理装置において、

□前記特定言語入力変換部は、前記辞書データ編集UIに入力された英字aを日本語入力表示「あ」に変換し、英字iを日本語入力表示「い」に変換し、英字uを日本語入力表示「う」に変換し、英字eを日本語入力表示「え」に変換し、英字oを日本語入力表示「お」に変換するように構成されるもの。

- 爆速® ドラフト
- 見やすい／読みやすい／チェックが楽
- 体裁の統一

明細書の対応箇所に自動で色を反映

セル41に「52」が、第2の入力キーセル42に「a」と「b」とが入力されている。これらによって規定されるセル40に、「52a」という符号を付す「主要文字列」と「52b」という符号を付す「符号部」とがそれぞれ入力されている。

□【0033】

【日本語入力変換部333】

□日本語入力変換部333は、ソフトウェア（記憶部32に記憶されている）による情報処理がハードウェア（制御部33）によって具体的に実現されているものである。日本語入力変換部333は、辞書データ編集UI4に入力され且つ英数字で規定される入力キー順列51を、この入力キー順列51を特定言語入力した際に表示される日本語入力表示形式に変換する。例えば、前述の52aという符号を付す「主要文字列」を考えると、日本語の辞書登録としては、変換元が「52a」となり、変換後が「主要文字列52a」となるべきである。日本語入力変換部333は、このような日本語入力の辞書変換に基づいて、辞書データ編集UI4において英数字で規定される入力キー順列51を日本語入力表示形式に変換する。

□【0034】

□より、具体的には、日本語入力変換部333は、辞書データ編集UI4に入力された英字aを日本語入力表示「あ」に変換し、英字iを日本語入力表示「い」に変換し、英字uを日本語入力表示「う」に変換し、英字eを日本語入力表示「え」に変換し、英字oを日本語入力表示「お」に変換するように構成される。

□【0035】

【辞書データ生成部334】

□辞書データ生成部334は、ソフトウェア（記憶部32に記憶されている）による情報処理がハードウェア（制御部33）によって具体的に実現されているものである。辞書データ生成部334は、辞書データ編集UI4に対する入力の結果に基づいて、辞書データ5を生成するように構成される。図6は、生成された辞書データ5の一例を示している。このように、辞書データ5は、入力キー順列51と変換文字列52とを紐付けたリストである。ここで、図6に示されるように、辞書データ5に含まれる変換文字列52は、主要文字列52aの後に入力キー順列51（符号部52b）を繋げてなる文字列であることに留意されたい。

□【0036】

□つまり、ユーザは、辞書データ編集UI4においては、規定のセル40に変換文字列52の「情報処理装置3」ではなく主要文字列52a（変換文字列52から符号部52bを除いた文字列であって、用語に相当）の「情報処理装置」とだけ入力すればよい。そして、そのような入力を行ったとしても、辞書データ生成部334によって生成される辞書データ5には、「情報処理装置」ではなく「情報処理装置3」が変換文字列52として記載されることとなる。これにより、辞書登録の際に、変換元となる入力キー順列51の入力と、変換後の符号部52bとを重複して入力するというユーザの手間が解消されるという有利な効果を奏す。

□【0037】

□また、図6及び日本語入力変換部333の説明でも明らかなように、辞書データ生成部334は、日本語入力表示形式の入力キー順列51と、変換文字列52とを紐付けた辞書データ5を生成するように構成されるとい。

自動変換

- 最低限のサポート要件を自動で担保
- 明細書の重点チェック箇所が一目でわかる



Wordの変更履歴を使って補正

【書類名】特許請求の範囲
【請求項 1】
辞書データを生成する情報処理装置であって、
□前記辞書データとは、入力キー順列と変換文字列とを紐付けたリストで、
□本情報処理装置は、UI生成部と、辞書データ生成部と、**特定言語入力変換部**とを備え、
□前記UI生成部は、辞書データ編集UIを生成するように構成され、ここで前記辞書データ編集UIとは、2次元テーブルのUIで、このテーブルの行及び列によって規定される各セルに情報を入力可能に構成され、
□前記特定言語入力変換部は、前記辞書データ編集UIに入力され且つ英数字で規定される前記入力キー順列を、この入力キー順列を特定言語入力した際に表示される特定言語表示形式に変換するよう構成され。
□前記辞書データ生成部は、前記辞書データ編集UIに対する入力の結果に基づいて、**前記特定言語入力表示形式の前記入力キー順列と、前記変換文字列と**を紐付けた前記辞書データを生成するように構成されるもの。
【請求項 2】
請求項1に記載の情報処理装置において、
□前記特定言語入力変換部は、前記辞書データ編集UIに入力された英字aを日本語入力表示「あ」に変換し、英字bを日本語入力表示「い」に変換し、英字cを日本語入力表示「う」に変換し、英字dを日本語入力表示「え」に変換し、英字eを日本語入力表示「お」に変換するように構成されるもの。
【請求項 3】
辞書データを生成する情報処理装置であって、
□前記辞書データとは、入力キー順列と変換文字列とを紐付けたリストで、
□本情報処理装置は、UI生成部と、辞書データ生成部とを備え、
□前記UI生成部は、辞書データ編集UIを生成するように構成され、ここで前記辞書データ編集UIとは、2次元テーブルのUIで、このテーブルの行及び列によって規定される各セルに情報を入力可能に構成され、
□前記辞書データ生成部は、前記辞書データ編集UIに対する入力の結果に基づいて、前記辞書データを生成するように構成され。
【請求項 4】
請求項1に記載の情報処理装置において、
□前記辞書データ編集UIにおける前記セルは、第1の入力キーセルと、第2の入力キーセルと、文字列セルとに少なくとも分類され、
□前記第1の入力キーセルは、行見出し及び列見出しの一方を構成し、前記入力キー順列のうち前半部分に対応する英数字の入力欄として機能し、
□前記第2の入力キーセルは、前記一方に対する他方を構成し、前記前半に対する後半部分に対応する英数字の入力欄として機能し、
□前記文字列セルは、前記行見出し及び前記列見出しの何れにも含まれないセルで、前記入力キー順列と紐付ける前記変換文字列又はその一部で構成される主要文字列の入力欄として機能するもの。
【請求項 5】

らくらく補正

自動変換

- 校閲：変更履歴を直感的に把握可能
- 提出：指定の形式に自動変換

- 爆速®ドラフト
- 見やすい／読みやすい／チェックが楽
- 体裁の統一

1-Clickで変更箇所に下線を付与し、出願形式に変換 引用先の従属項を自動修正／修正示唆

【書類名】特許請求の範囲
【請求項 1】
辞書データを生成する情報処理装置であって、
□前記辞書データとは、入力キー順列と変換文字列とを紐付けたリストで、
□本情報処理装置は、UI生成部と、辞書データ生成部と、**特定言語入力変換部**とを備え、
□前記UI生成部は、辞書データ編集UIを生成するように構成され、ここで前記辞書データ編集UIとは、2次元テーブルのUIで、このテーブルの行及び列によって規定される各セルに情報を入力可能に構成され、
□前記特定言語入力変換部は、前記辞書データ編集UIに入力され且つ英数字で規定される前記入力キー順列を、この入力キー順列を特定言語入力した際に表示される特定言語表示形式に変換するよう構成され。
□前記辞書データ生成部は、前記辞書データ編集UIに対する入力の結果に基づいて、**前記特定言語入力表示形式の前記入力キー順列と、前記変換文字列と**を紐付けた前記辞書データを生成するように構成されるもの。
【請求項 2】
請求項1に記載の情報処理装置において、
□前記特定言語入力変換部は、前記辞書データ編集UIに入力された英字aを日本語入力表示「あ」に変換し、英字bを日本語入力表示「い」に変換し、英字cを日本語入力表示「う」に変換し、英字dを日本語入力表示「え」に変換し、英字eを日本語入力表示「お」に変換するように構成されるもの。
【請求項 3】
辞書データを生成する情報処理装置であって、
□前記辞書データとは、入力キー順列と変換文字列とを紐付けたリストで、
□本情報処理装置は、UI生成部と、辞書データ生成部とを備え、
□前記UI生成部は、辞書データ編集UIを生成するように構成され、ここで前記辞書データ編集UIとは、2次元テーブルのUIで、このテーブルの行及び列によって規定される各セルに情報を入力可能に構成され、
□前記辞書データ生成部は、前記辞書データ編集UIに対する入力の結果に基づいて、前記辞書データを生成するように構成され。
□前記辞書データ編集UIにおける前記セルは、第1の入力キーセルと、第2の入力キーセルと、文字列セルとに少なくとも分類され、
□前記第1の入力キーセルは、行見出し及び列見出しの一方を構成し、前記入力キー順列のうち前半部分に対応する英数字の入力欄として機能し、
□前記第2の入力キーセルは、前記一方に対する他方を構成し、前記前半に対する後半部分に対応する英数字の入力欄として機能し、
□前記文字列セルは、前記行見出し及び前記列見出しの何れにも含まれないセルで、前記入力キー順列と紐付ける前記変換文字列又はその一部で構成される主要文字列の入力欄として機能するもの。

爆速®出願システム

特許第6744643号



前処理

スマート辞書登録

- 案件毎に単語を簡単に辞書登録
- 辞書データはユーザー間で共有可能

特許第6709924号



書類作成

爆速®ドラフト

- 請求項に自動で色付
- 請求項の対応箇所に自動で色を反映
- 解決手段を自動生成
- 発明の名称を自動生成
- 図面の簡単な説明を明細書から自動生成
- 要約書を自動生成
- 請求項と明細書の対応箇所を同期
- らくらく補正機能



後処理

自動整形

- 非技術情報の自動入力
- 1-Clickで文書データと画像データを統合しHTMLファイルを生成
- 顧客別テンプレートの自動挿入
- 【発明の効果】の欄の有／無を自動切替
- フォントの種別／サイズを統一



- 参照ファイルから自動差込
- 文書データと画像データを統合しHTMLファイルを生成
- ローカル環境で動作する

参照ファイル

整理番号:IPX19P001 特願2019-185823 (Proof) 提出日:令和1年10月9日 1/E

【書類名】	特許願
【整理番号】	IPX19P001
【あて先】	特許庁長官 殿
【発明者】	
【住所又は居所】	東京都港区北青山2-7-20 第二猪瀬ビル3F 特許業務法人IPX内
【氏名】	奥村 光平
【発明者】	
【住所又は居所】	東京都港区北青山2-7-20 第二猪瀬ビル3F 特許業務法人IPX内
【氏名】	押谷 昌宗
【発明者】	
【住所又は居所】	東京都港区北青山2-7-20 第二猪瀬ビル3F 特許業務法人IPX内
【氏名】	植野 健一
【発明者】	
【住所又は居所】	東京都港区北青山2-7-20 第二猪瀬ビル3F 特許業務法人IPX内
【氏名】	三戸 秀之
【特許出願人】	
【住所又は居所】	東京都港区北青山二丁目7番20号
【氏名又は名称】	特許業務法人IPX
【代理人】	
【識別番号】	110002789
【氏名又は名称】	特許業務法人IPX
【代表者】	押谷 昌宗
【連絡先】	奥村 光平
【手数料の表示】	
【指定立替納付】	
【納付金額】	14,000円
【提出物件の目録】	
【物件名】	特許請求の範囲 1
【物件名】	明細書 1
【物件名】	図面 1
【物件名】	要約書 1

★差込:～★ の箇所を一括で差込

【書類名】□□□□□出願審査請求書

◆付記:緑マーカーはマクロ差込箇所/黄色マーカーは自分で変更する◆

【整理番号】□□□□★差込:整理番号★

【あて先】□□□□□特許庁長官□殿

【出願の表示】

□□【出願番号】□□□★差込:出願番号★

【請求項の数】□□□□★差込:請求項数★

★差込:請求人情報一括★

【代理人】

□□【識別番号】□□□110002789

□□【氏名又は名称】□特許業務法人IPX

□□【代表者】□□□□押谷□昌宗

【手数料の表示】

□□【指定立替納付】

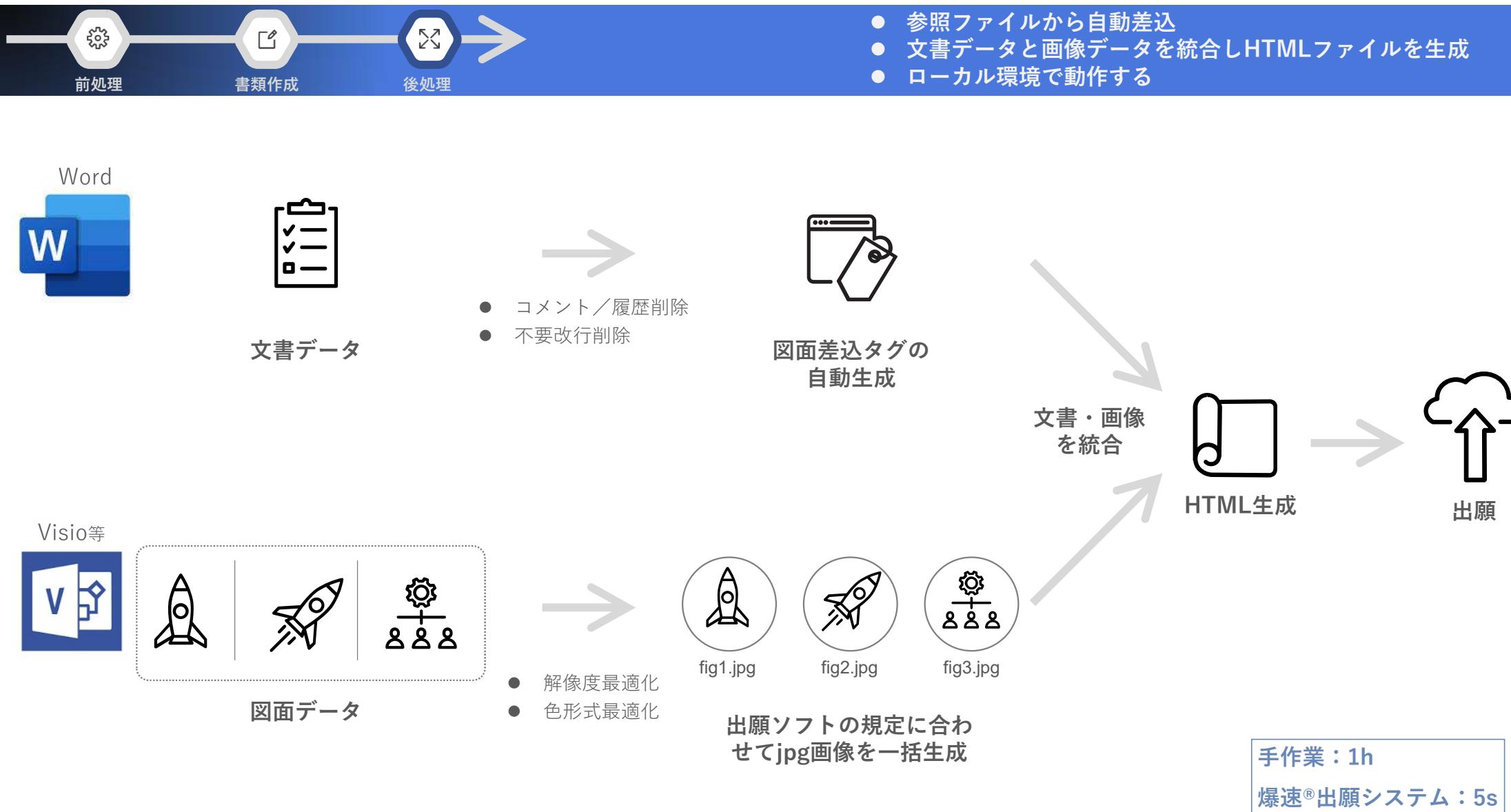
◆付記:1/2減免の場合は「★差込:1/2★」、1/3減免の場合は「★差込:1/3★」◆

□□【納付金額】□□□★差込:金額★

◆付記:以下減免がある場合のみ◆

【手数料に関する特記事項】□特許法施行令第10条第5号に掲げる者に該当する請求人である。減免申請書の提出を省略する。

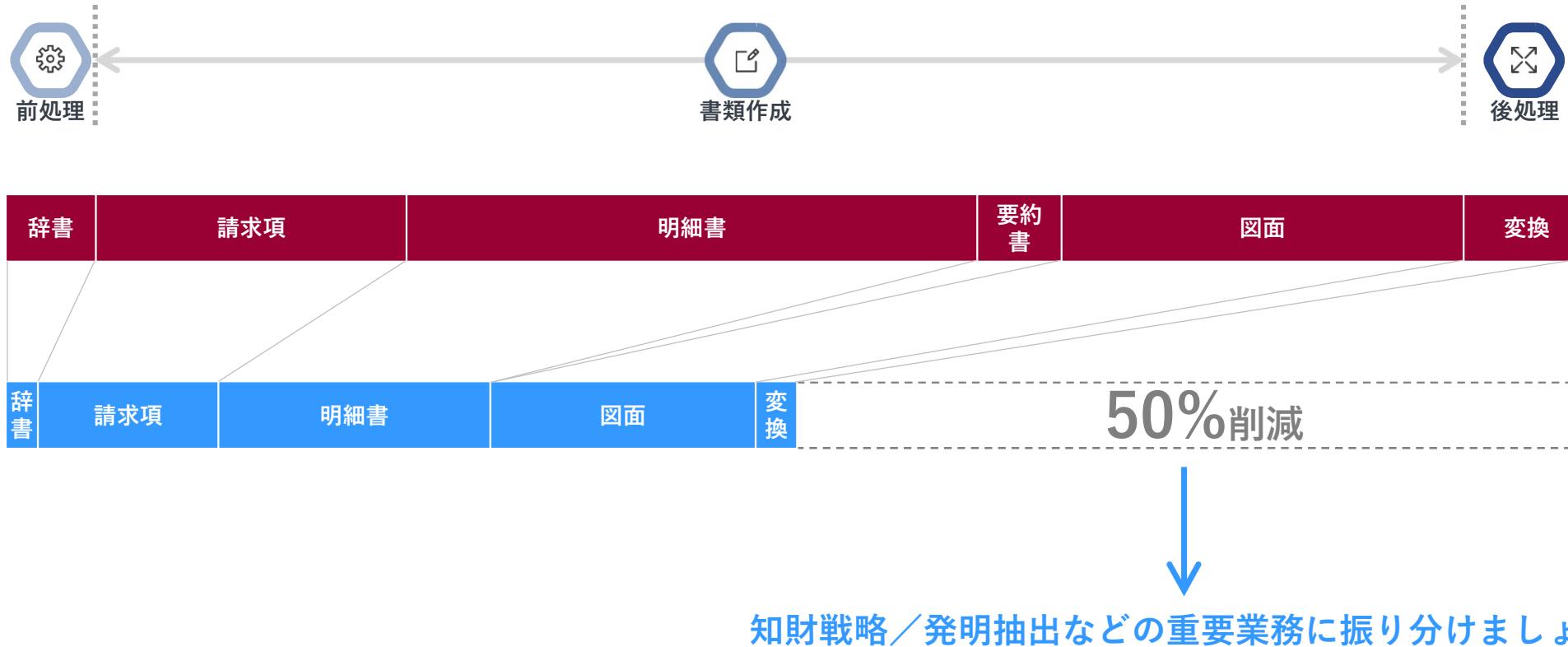
- 審査請求、登録料納付、優先権、分割、変更等に対応
- データベースを利用せずにローカル環境で構築可能



システム要件

要件	
OS	Windows
apps	Word, Visio
bit	32bit, 64bit
環境	ローカル
共有	クラウド共有可能

削減時間



提供条件

- リピーター様
- 顧問契約
- 有償ライセンス

詳細な条件は個別にご相談ください